

みずほCustomer Desk Report 2019/08/13号(As of 2019/08/12)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	公示仲値					
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD	-
TKY 9:00AM	105.40	1.1207	118.14	1.2022	0.6778	
SYD-NY High	105.70	1.1230	118.40	1.2106	0.6795	
SYD-NY Low	105.05	1.1162	117.52	1.2015	0.6745	
NY 5:00 PM	105.28	1.1216	118.07	1.2076	0.6749	
NY DOW	25,897.71	▲ 389.73	日本2年債	-	-	-
NASDAQ	7,863.41	▲ 95.73	日本10年債	-	-	-
S&P	2,883.09	▲ 35.56	米国2年債	1.5766	▲ 6.90bp	
日経平均	-	-	米国5年債	1.4854	▲ 9.30bp	
TOPIX	-	-	米国10年債	1.6395	▲ 10.35bp	
シカゴ日経先物	20,280	▲ 210	独10年債	-0.5960	▲ 1.90bp	
ロンドンFT	7,226.72	▲ 27.13	英10年債	0.4875	0.40bp	
DAX	11,679.68	▲ 14.12	豪10年債	0.9665	2.90bp	
ハンセン指数	25,824.72	▲ 114.58	USDJPY 1M Vol	8.38	0.35%	
上海総合	2,814.99	40.24	USDJPY 3M Vol	8.38	0.31%	
NY金	1,517.20	8.70	USDJPY 6M Vol	8.05	0.20%	
WTI	54.93	0.43	USDJPY 1M 25RR	-1.88	Yen Call Over	
CRB指数	170.62	▲ 1.47	EURJPY 3M Vol	8.61	0.31%	
ドルインデックス	97.38	▲ 0.11	EURJPY 6M Vol	8.33	0.21%	

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月12日		特になし		

【本日の予定】

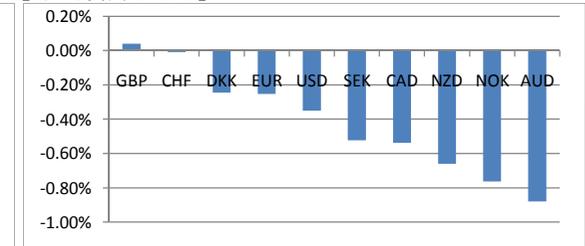
Date	Time	Event	予想	前回
8月13日	15:00	独 GPI(前月比/前年比)・確報	7月 0.5%/1.7%	0.5%/1.7%
	17:30	英 週平均賃金(除賞与/3ヵ月/前年比)	6月 0.038	0.036
	18:00	独 ZEW景気期待指数	8月 -2800.0%	-2450.0%
	18:00	欧 ZEW景気期待指数	8月 -	-20.3
	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	7月 0.3%/1.7%	0.1%/1.6%

アジア	アジア時間を105.40レベルでスタートした週明けのドル円は、前週末にトランプ大統領が「9月予定の中国との会合は中止となる可能性がある」と発言したことを受け、米中貿易摩擦の長期化を懸念したリスクオフの動きが先行し、朝方に105.32まで一時下落。その後は人民元の対ドル基準値発表後に105.56まで上昇する場面があるも続かず、東京市場およびシカゴホール市場が休場で閑散相場の中、全般的に方向感に乏しい展開となり、結局105.39レベルで海外時間へ渡った。(香港時間14:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、105.39レベルでオープン。本日は東京市場が休場の中、先週末のトランプ大統領の発言から米中貿易問題先行懸念が強まりドル売りの流れとなり、香港空港でのデモを受けて地政学リスクも上昇したことを受けて105.05まで売られ、その後105.13レベルでNYに渡った。ポンドは、1.2046レベルでオープン。ロンドン時間での特段の目新しい材料が見当たらない中、米中貿易問題の先行懸念からのドルが売りがポンドは1.2106まで買われる。午後にかけてドル売りが一服したため、横ばいで推移し1.2084レベルでNYに渡った。(ロンドン時間17:00)
ニューヨーク	東京市場が休場で閑散取引の中、海外市場のドル円は、米中貿易問題、イタリアとアルゼンチンの政局不安、香港のデモ激化等の懸念材料を背景にリスクオフが強まる中、円買い優勢の展開となる。早朝には1月3日以来の水準となる105.05まで下落するが、心理的節目の105.00近辺では買い意欲も見られる中、小幅反発し、105.13レベルでNYオープン。主要な米雇用統計の発表が予定されていない中、午前中は105円下抜けが失敗したことが意識されたためか、ショートカバー等の買いが入り、一時105.43まで上昇。午後は米金利を低下を続け、9月平均が一時400ドル超下落する動きに動きに圧迫され、105.19まで下落。終盤は小幅値を戻し、105.28レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.1200手前の狭いレンジでの推移でスタート。その後「カール・ニエ副首相が不信任採決先送りなら閣僚引き揚げを検討」とのヘッドラインにイタリア政局不安が強まる中、ユーロ売りが先行し、一時1.1163まで下落。その後、米金利を低下にドル売りが強まり、1.1200まで上昇し、1.1189レベルでNYオープン。米金利が低下を続ける中、対ドルでユーロが買い戻しが進んだことから、1.1230まで上昇。買い一巡後は、1.1210まで反落し、は狭いレンジで方向感の無い推移となり、結局、1.1216レベルでクローズ。

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	105.10-106.00	1.1150-1.1250	117.75-119.00

【マーケットインプレッション】

昨日、アジア時間のドル円はイタリアとアルゼンチンの政局不安、香港のデモ激化等を背景としたリスクオフムードが高まる中で円買い優勢な展開となり1月3日以来となる105.05円まで下落。海外市場では105円近辺での買い需要が意識されショートカバーも入り一時105.43円まで上昇するも、ダウが一時400ドル超下落し、米金利も低下する動きに上値は抑えられ105.28円までクローズした。本日のドル円は、米中対立が激化するなかで、市場のリスク回避姿勢が強まっている状況下、世界的な株安や米金利の低下を背景に日本円が買われ易い地合いが続きそう。中国人民銀行が10時15分に公表する人民元の対ドル基準値の設定水準やトランプ大統領によるツイッターなどの不規則発言が、市場センチメントを左右する要因となりそう。節目となる105.00円近辺では押し目買いによるサポートも期待されるものの、市場では引き続き円高方向を警戒する動きが活発であり、下抜けた場合には大きな値幅を伴って下落する可能性には警戒しておきたい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。